



◆ 巻 頭 言 チャツボミゴケと尾瀬

秋は読書の秋、食欲の秋、行楽の秋と言われている。私も世間の言葉に従いチャツボミゴケ公園、尾瀬ヶ原等に行楽の秋を楽しんできた。

チャツボミゴケ公園は群馬県吾妻郡中之条町草津温泉から車で約 30 分の山奥で、最近観光地として知られる様になった。チャツボミゴケとはウロコゴケ、目ツボミゴケ科に属し強酸性の鉱泉が湧出する水中に生育するという珍しい特性があり世界 18000 種のゴケ類の中でも耐酸性に強い特異なゴケだそうです。チャツボミゴケ群生地(穴地獄)周辺は温泉の硫黄の臭いがし約 50mの一周出来る木道があり、川の白色、ゴケの緑、紅葉そして青空と絶景の眺めでした。

水上温泉から 63 号線を行き藤原湖、奈良俣湖、大小 11 の滝が連なる照葉峡(関東の奥入瀬とも言われている)を通り尾瀬に向かった。途中の紅葉も美しかった。マイカー規制中で戸倉駐車場からは乗り合いタクシーを利用(片道 1 人 930 円)鳩待峠迄行った。鳩待峠から山の鼻を通り尾瀬ヶ原では一面の草紅葉多くの水面に生えている羊草の緑色、茶色、ウロコ雲が写り感激し竜宮小屋までの木道を約 5 時間かけ往復したのしんだ。

チャツボミゴケ公園は群馬県の天然記念物、尾瀬は国定公園に指定されておりどちらも多くの人々が行楽を楽しんでいた。私達の活動も自然を後世に残る森づくりをしなければならぬと思いをながらの行楽でした。

高嶋 光夫

◇平成 28 年 1 1 月の活動予定

① 11月13日(日) 9時半～14時 ・集合場所 池の下広場

◇作業内容：スギ林の間伐作業・中尾根沢の法面補強工事

- ・作業場所：中尾根作業エリア (E5-2 の管理型スギ林への保全作業)
- ・記 事：弱小木(スギ)、シロダモの除伐。
：間伐材を玉切り、沢の法面に張付ける。

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、防虫剤、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、刈払機、ロープ、カケヤ

② 11月27日(日) 9時～14時半 ・集合場所 池の下広場

(※)皆様の協力をお願いします。体験教室の準備を行うので集合は9時です。

◇作業内容：横浜レンジャーズ・ボラ塾生の伐採体験教室

- ・作業場所：いっしんどう作業エリア(港南台側の A1-2 管理型スギ林への作業)
- ・記 事：安全確保に努めて下さい

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、飲料水、お弁当、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ

(28年12月号の原稿に関し、上記活動報告は高妻賢二氏、巻頭言は上手旦充氏、リレートークは柳下淳一氏です。原稿の締め切りは28年11月28日(月)枝村氏迄宜しくお願いします)欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

報告者 伊藤眞砂繪

(1) 平成 28年10月9日(日) 雨のち曇り 池の下広場 9:30~11:00

参加者: 渡邊富, 伊藤, 高嶋, 渡部, 枝村, 長谷川, 佐谷, 浅見, 上手, 三島, 小宅 計11名、
打ち合わせ:

①23日は『谷戸の子供教室』『緑の体験教室』を分けて実施するための手順を打ち合わせた。体験場所と時間は9:30~いっしんどう広場上、除伐体験(マーク木)、玉切り(コースター用)その後工作。『緑の体験教室』参加者が居た場合いっしんどう広場下(A1-2)での除伐体験と決めた。指導する我々も4班体制と別働隊と結構厳しいが、なるべく会員の参加を促したい。

②10月7日の横浜市主催の『安全講習』浅見氏出席・於自然観察の森 講師は神保氏 安全講習は初心者対象で、再確認には役立った。ロープワーク、9:30~15:30 みっちり、4班に分かれて実践では除伐体験もした。今後参加については名簿順を提案。

③ホームページ担当変更の件暫定で中塚氏へ送付。



雨の中 集まったメンバー



土砂の流れ込み防止に溝掘



柵も開けてみた

(2)平成 28年 10月 23日(日)晴 谷戸の子供教室実施 於 いっしんどう広場

参加者: 浅見、伊藤、枝村、小宅、佐谷、上手、高嶋、竹内、中塚、長谷川、前村、三島、渡邊富
渡部 計14名

谷戸の子供塾 大人13名 子供12名 計25名参加

① 9:30 集合、手入れの必要性等レクチャー(渡邊、中塚各講師より)ラジオ体操後

② 4班に分かれそれぞれ除伐体験と玉切り(コースター用に薄切り)体験を繰り返す

③ 最後は下ごしらえも済ませた工作を楽しんでもらい、コースターの皮むきにも挑戦してもらった。
11時40分名残惜しそうに散会した。



イベント参加者たち



除伐体験も



今回の作品は

10月23日(日)後半

④ 会支給の弁当を食べた後、本日の活動に入った。いっしんどう広場 A1-2港南台側下の
下草刈りや除伐を行った。(12:00~13:30)

⑤ 効率良くチェーンソー利用で太いシロダモ 5 本を倒し、その処理を皆で実施した。



チェーンソー利用



シロダモ処理は皆で



修了 引き上げ

◆ リレートーク

「ミバエ」

村田 飛鳥

日頃から自然に親しむみなさまなら、ミバエという昆虫をご存じ
でしょうか？ ミカンコミバエ・ウリミバエ・チチュウカイミバエ
などが特に重要です。 これらミバエ類は、卵～幼虫を生果実の
中で過ごすため、農薬による防除が困難で、外から見てもその果
実が寄生されているかわかりません。そのため、これらの侵入を
防ぐためには、果実ごと侵入を防止するほかありません。 先日、
就職が決まった私の職場では、空港の旅行客からいただいたマ
ンゴーから数百頭のミバエが羽化した先例があります。ですから、
もし海外旅行に行かれた際は、マンゴーやリンゴ、トマトなどの生
果実をお土産にしないようにお願いします。 空港で没収されるか、食べようとした時に不
幸な目にあうかもしれません。(不幸な目を疑似体験されたい方は、上記のミバエ名で検
索し、画像欄をお楽しみください)。



追記 役得でミバ工情報を先取して良かった。26日水曜、長野からの連れ合いの土産の直径22cmものカボチャを切った所、カボチャミバ工にやられていたのだ。丸ごと購入も何度かあったのに人生で初めて出くわした。硬いのを必死に切って割れた時何故かいきなり種が流しに飛び散った。種はスプーンで掻き出すのにと、違和感があったが見た目『ウジ虫』が飛び跳ねていた。大きなカボチャだったから50匹はいたかも、必死に種をまとめ袋詰めにした。虫嫌いの私が後処理に長時間を要した、ああ。。。 (伊藤)



内側が全てもみ殻みたい

◆編集後記

先日会の重鎮でおられた小嶋紀之氏が他界された(10/12)。 我会発足は栄区役所主催の『グリーンキーパー』育成事業終了者で構成され、その事業時(2003年)のメンバー紹介記事に小嶋氏の特技『釣(海で船釣り)』が得意で、釣った魚は全てさばけます。それに伴って、包丁など刃物の手入れも良く出来る方だと思います』とありました。彼の特技が我会の鎌の手入れに生かされた事は吝かではありません。

発足時には進んで会計を引き受けて下さり(銀行マンだからと言ってましたが、会をまとめる縁の下の役割です)。日常でも緻密で正確な行動は、渡部氏曰く(会で一番まともだったのが小嶋さんだね)本当にそうでした。そして気骨ある方でした。何度も手術を繰り返されて、その都度復帰され、声を無くされても丁寧に作業を続けておられました。

ある年の光が丘会館の剪定の帰路、車に同乗させてもらった時には抜け道ばかりを走る彼の別の面を見た思いでした。

“瀬上さとやまもりの会”として部会制が発足した時、不毛の会議を想像し南部公園事務所への参加を断った時、小嶋さんから叱責された事を思い出します『僕もやっているのに我儘言うな』温厚な彼の絞る様な声にビビッと来ました。体調不良の中頑張っておられたのだと思います。今では懐かしい思い出となりました。合掌 (伊藤)



10月13日のイングリッシュガーデンで季節外れの紫陽花が！今年の天候異変の象徴？献花です